

役員立候補者等公示

公示番号ー 18

立候補役職名	会員理事			
(ふりがな)	あかさか なおき	性別	生年月日	年齢
氏名	赤坂 直紀	男	1982年7月20日	42 歳
勤務先名	社会福祉法人溪仁会 介護老人福祉施設きもべつ喜らめきの郷			
会員番号	67517	市町村	札幌市	道央地区支部
主な活動歴	現在の勤務先では、施設相談員（ソーシャルワーカー）として勤務。また、今年度、ケアラー支援にかかる地域アドバイザーの認定を受けました。令和5年度より日本社会福祉士会の地域包括ケア推進委員として、ケアマネジメント実践記録様式の更新、全国実践研究集会の運営、厚労省への提言内容の検討等に携わっています。 その他、令和6年4月発行の中央法規出版「ソーシャルワーク研究」内にて事例研究を報告しました。			
立候補理由・抱負	北海道社会福祉士会にもご承諾をいただき、令和5年度より日本社会福祉士会地域包括ケア推進委員の任を授かりました。全国の委員とともに課題を焦点化し、実践研究集会の運営等に携わっております。しかし、こうした活動は私個人の経験や財産とするのではなく、得たものを地元還元してこそ、社会福祉士が果たすべき使命を全うできるのではないかと考えております。ソーシャルワークの定義は、グローバル（世界）、ナショナル（国）、リージョナル（地域）という3つのレベルをもつ重層的なものです。理事となった暁には、地域包括ケア推進委員としての実践を北海道社会福祉士会の活動に反映させ、北海道が今抱える地域社会諸課題や今後脅威となるであろう諸課題に対し、他理事の皆さま、会員の皆さまと共に取り組んでまいります。宜しくお願い致します。			
推薦者 1	神内 秀之介	会員番号	17002	道北地区支部
推薦理由	赤坂直紀さんを公益社団法人北海道社会福祉士会の理事に推薦する理由は、彼の豊富な経験と卓越した実績にあります。赤坂さんは日本社会福祉士会の地域包括ケア支援委員として積極的に活動されており、セミナーの企画や開催、また司会としてもその手腕を発揮しています。これらの活動を通じて、地域社会に密着した多職種連携を促進し、包括的なケア体制の構築に貢献してきました。彼の行動力、企画力、そして対象者や関係者との信頼関係を築く力は、理事としての職責を果たすのに十分であると確信しています。さらに、北海道における福祉の発展に対する情熱と実践的な取り組みが、社会福祉士会の理念に深く結びついており、今後の会の活動をより一層発展させる原動力となると考えられます。			
推薦者 2	東 幸智	会員番号	26477	道央地区支部
推薦理由	この度会員理事に立候補した赤坂さんを北海道社会福祉士会理事に推薦致します。推薦する1番の理由としては、福祉に対する熱い思い・情熱を感じるからです。そして、その思いをしっかりと行動に移すことができます。その実績も十分にあります。 社会福祉士や介護支援専門員として赤坂さんが利用者さんと接している様子からもその実直さが伝わってきます。そうした姿・取り組む姿勢は理事としての資質を十分に併せ持ち、今後の北海道社会福祉士会の活動の一層の発展につながるのではないかと考えております。			
推薦者 3	佐々木 貴紀	会員番号	46993	道央地区支部
推薦理由	北海道社会福祉士会理事に立候補した赤坂氏を理事に推薦します。赤坂氏とは、以前、同じ事業所で勤めていました。赤坂氏は、施設相談援助職として十分な実績があります。また、ご利用者・ご家族・関係機関との調整、調和する能力に長けており、信頼のおける相談援助職者です。そして、個人の課題をしっかりと分析し、地域課題として地域に訴えかけることもできます。社会福祉士をはじめとする専門職者は地域で不足しています。これからの社会福祉士会は1つの法人や一事業所内での活動にとどまらず、一人の社会福祉士として地域で活動することが求められます。赤坂氏には、まさに一つの事業所にとどまることなく、今後の社会福祉士会の活動に大いに貢献してもらいたいと考えております。			